

野田 尚史 (のだ ひさし)

研究の方法

日本語学習者に日本語の文章を読んでもらい、読みながら理解した意味やわからなかった点などを母語で話してもらう。

日本語学習者はどんなときに意味を不適切に理解するかを分析する。

日本語学習者に必要な「読む」ための文法を構築する。

読解調査の対象

【調査に協力してもらった日本語学習者】

- ・中国語母語話者で日本の大学に在籍する大学院生30名
- ・日本語能力は上級(日本語能力試験1級・N1取得者)

【読解対象】

自分の専門分野の学術論文

(言語学, 人文地理学, 経済学, 経営学, 社会学, 社会福祉学, 心理学, 生活科学, 材料化学, 電気電子工学, 機械工学, 土木工学)

日本語学習者の不適切な理解から「読む」ための文法へ

省略された主語についての学習者の理解

法案においては…[省略]…等を柱とし、まちづくりの主体である市町村が、都市の低炭素化を促進するための低炭素まちづくり計画を作成し、その地域に応じた低炭素化の取り組みを展開していくことを目指している。

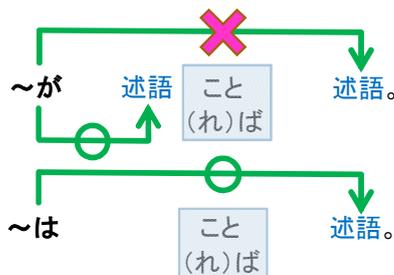
「目指している」の主語は？

正しくは：「国土交通省」（前の文にあり）
学習者は：「市町村」
(「市町村」に「が」が付いているから)



省略された主語を適切に理解するための文法

- ・述語の主語は「～こと」や「～(れ)ば」などより前にある「～が」であることはない。
- ・述語の主語は「～こと」や「～(れ)ば」などより前にある「～は」か、それがなければ、さらに前の文にある「～は」である。



修飾構造についての学習者の理解

一つ目に、前述のようにジニ係数のような空間情報を含まない集中度のみを算出した分析では、集積の概念にある隣接性は無視されており、王・魏や日置の研究のように集積の尺度も併用することが望ましい。

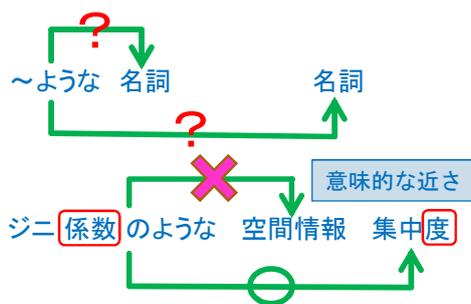
「ジニ係数のような」の修飾先は？

正しくは：「集中度」を修飾
学習者は：「空間情報」
(直後の名詞を修飾するはず)



修飾構造を適切に理解するための文法

- ・「～ような」などは直後の名詞を修飾するとは限らない。直後にある名詞ではない名詞を修飾することがある。
- ・どの名詞を修飾するかは、意味的に判断する必要がある。(たとえば「～係数」と「～度」の近さや、前後の文脈から判断する。)



並列構造についての学習者の理解

ここで注意すべきことは、目標利益の設定目的が何かということである。開発設計者等の業績の測定・評価なのか、当該新製品が企業利益にどの程度貢献したのかを測定・評価するものなのかによって、使用する利益概念は異なる。

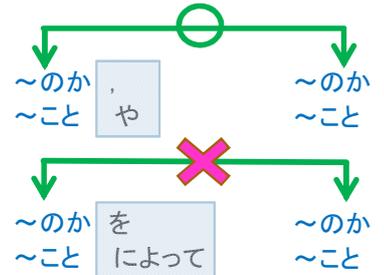
「～のか」の並列は？

正しくは：1つ目と3つ目だけが並列
学習者は：3つとも並列
(「～のか」が3つ並んでいるから)



並列構造を適切に理解するための文法

- ・「～のか」や「～こと」などの直後に「を」や「によって」などがあれば、後の「～の」や「～こと」とは並列されていない。
- ・「～のか」や「～こと」などの直後に「,」や「や」などがあれば、後の「～の」や「～こと」と並列されている。



主要参考文献

野田尚史(2014)「上級日本語学習者が学術論文を読むときの方法と課題」『専門日本語教育研究』16, 専門日本語教育学会。
野田尚史(2016)「非母語話者の日本語理解のための文法」, 庵功雄・佐藤琢三・中俣尚己(編)『日本語文法研究のフロンティア』くろしお出版。
野田尚史(2017)「中国語話者の日本語読解—調査方法と調査結果—」『中国語話者のための日本語教育研究』8, 日中言語文化出版社。
野田尚史・花田敦子・藤原未雪(2017)「上級日本語学習者は学術論文をどのように読み誤るか—中国語を母語とする大学院生の調査から—」『日本語教育』167, 日本語教育学会。